「羽田空港跡地第１ゾーン整備事業（第一期事業）」整備・運営事業予定者の提案概要

平成29年6月1日
大　田　区

提案グループ

【代表企業】鹿島建設㈱

【構成員（8事業者）】
空港施設㈱、京浜急行電鉄㈱、大和ハウス工業㈱、
東京モノレール㈱、日本空港ビルデング㈱、野村不動産パートナーズ㈱、
東日本旅客鉄道㈱、富士フイルム㈱（※五十音順）

【協力会社（20事業者）】
㈱アバンアソシエイツ、岩谷産業㈱ 、WHILL㈱、
ANAホールディングス㈱、㈱隈研吾建築都市設計事務所、
国立研究開発法人国立国際医療研究センター、松竹㈱、
城南信用金庫、 ㈱Zeppホールネットワーク、タイムズ24㈱、
東京ガス㈱、東京空港交通㈱、国立大学法人東京工業大学、
東京電力エナジーパートナー㈱、学校法人東邦大学、
トヨタ自動車㈱、㈱トライステージ、日本航空㈱、
㈱三井住友銀行、三菱地所㈱（※五十音順）

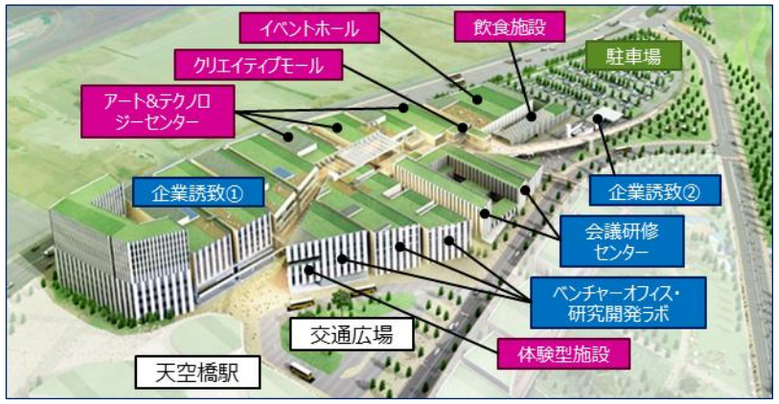
事業コンセプト

HANEDA Future Core
～ここに日本の未来が集まる～

■“HANEDA Future Core”を具現化する取組方針

1. 国際的な産業拠点に求められる集積と機能の導入で、本計画地のポテンシャルを最大化する
2. 異なる技術や発想・文化の出会いを促し、変化に富んだ新しい交流環境を整える
3. 経験豊富なコンソーシアムが50 年にわたって盤石な運営体制・財務基盤を構築し、永続的な成長を果たす

イメージパース



施設規模概要

総延床面積（想定）：約125,400㎡

	施設名	主な導入機能	想定延床面積
先端産業	企業誘致エリア①	研究開発施設（先端医療研究センター含む）、オフィス、滞在機能等	約60,500㎡
先端産業	ベンチャーオフィス・研究開発ラボ	研究開発ラボ、ベンチャーオフィス、区施策活用スペース等	約15,500㎡
先端産業	会議研修センター	貸会議室、滞在機能等	約16,300㎡
先端産業	企業誘致エリア②	水素ステーション	約300㎡
文化産業	アート&テクノロジーセンター	展示スペース、多目的スペース、研究開発スペース等	約8,600㎡
文化産業	イベントホール	多目的ホール	約4,000㎡
文化産業	体験型施設	体験ブース、飲食・物販施設	約4,100㎡
文化産業	飲食施設	飲食施設	約1,900㎡
文化産業	クリエイティブモール	店舗	約1,100㎡
共通	共通事業	ステーションコア、エリマネカフェ、駐車場等	約13,100㎡

各事業の提案内容

先端産業　羽田 SOCIAL INNOVATION

方策１　世界が直面する社会課題に応える３つの産業を核とした企業の集積

豊かな暮らし、健康な暮らしを目指す先進企業等を多数誘致し、大田区のものづくり技術（シーズ）と多様なニーズのマッチングを行い、そこから生まれた成果の実証・実用化を図ります。豊かな未来社会を拓くソリューションを羽田から世界に発信し、新産業の創造と国際競争力の向上に貢献します。先端医療研究センターには、臨床施設をサポートする滞在機能を整備します。

1 モビリティ＆エネルギー実証実験「先端モビリティサイト」
先端技術の集積拠点「先端技術のショーケース」
2 現場志向の新しい医工連携「先端医療研究センター」
3 ロボット研究開発企業の集積・交流「ベンチャーオフィス&研究開発ラボ」

方策2　コーディネーター連携会議「先端産業創造委員会」の設立

豊富な情報・経験・実績をもつコーディネーター・キュレーターを集結した組織を設立し、事業期間を通じて常に最先端のシーズ・ニーズ情報を結びつける強固なプラットフォームを構築します。

方策3　未来を担う企業の成長ステージにあわせた包括的な成長・発信支援

入居企業のみならず、区内外の企業を対象に、会議、研修、滞在などの空間提供のほか、資金調達や実用化支援など、多様なニーズに応える成長支援と発信支援を行います。

4 企業の交流・成長支援の要「クリエイティブサロン」
5 ものづくりのスタートアップ支援「クラウドファンディング」
6 企業研修、交流イベントの開催「会議研修センター」
7 ものづくりの裾野を拡げる「こども未来工作教室」

波及効果

大田区への波及効果
- 各分野からトップクラスの人材が集い、世界から注目される国際産業拠点を築き、区内ものづくり企業の既存ビジネスのチャンスを拡大するとともに、新たな産業分野への参入機会を増大させます。
- 国際産業拠点としてのプレゼンスを高めることで産業の集積が起こり、区内への企業立地が促進されるなど、区内産業の活性化に寄与します。

日本全体への波及効果
- 先端産業の集積、コーディネート、成長支援、発信支援により、日本の国際競争力の向上に寄与します。

文化産業　羽田 JAPAN PRESENTATION

方策１　「体験」を通じた多彩な日本文化の魅力の発信と拠点ネットワーク化

空港隣接の地の利を活かし、伝統文化から現代文化、農林水産物等の発信まで、大田区をはじめ国内各所の地域資源の魅力を一堂に集め、五感で楽しむ体験を通じて全世界へ発信するとともに地方創生に寄与します。

1 音楽・映像、伝統芸能・演劇「イベントホール」
2 食「羽田新鮮食材供給・販売システム」「羽田昔ばなし横丁」(飲食店)
3 芸術文化「アート&テクノロジーセンター」「クリエイティブモール」
4 伝統文化・伝統工芸・特産品「にほん文化体験館」
5 観光「にほん魅力案内所」「大田区歴史資料コーナー」
6 温泉文化「温泉情報発信所・足湯」

方策2　「羽田発」のオリジナリティあふれる新たな文化育成・産業化への挑戦

芸術文化の創作活動の場の提供などの人材育成や、日常的に文化やクリエイティブな活動に触れる機会を創出するほか、アートと技術という異分野融合による新産業創造を目指します。

7 外部空間を活用した文化創造活動「はねだキャンバスプロジェクト」
8 新産業創造への挑戦「Art&Technologyプロジェクト」

方策3　プロフェッショナル組織「文化産業創造委員会」の設立

常に魅力あるクールジャパンを発信し続けるとともに、日本の伝統工芸、アートなどの新たな価値創造を目的とした組織を設立し、50年間まちづくりを支えます。

波及効果

大田区への波及効果
- 大田区における一大拠点として、時代の変化に対応した常に新鮮な文化コンテンツを提供し続けることで、多くの方に来訪していただくとともに、にぎわいを継続させます。
- 大田区内の地域資源を活かしたコンテンツの提供や区内イベントの連携など、本事業を通してOTAの魅力を発信します。

日本全体への波及効果
- 日本文化の奥深さを「体験」で伝える未だかつて無いクールジャパン発信拠点を築き、訪れたことのない地域への訪問意欲を刺激し、観光による地方創生効果を各地に広げます。

共通　羽田 FUTURE BRANDING

方策１　羽田の歴史の要素を取り入れた、地域の安全、憩い・にぎわいを創出するエリアマネジメント

「エリアマネジメント委員会」を設立し、周辺地域と連携しながら、本計画地ならではの「羽田エリアマネジメント」を実施し、憩い・にぎわいを生み出します。

1「羽田まちなみ景観ガイドライン」
2「地域に浸透する防災拠点整備」
3「第1ゾーンブランドの形成・発展」
4「地域連携による憩い・にぎわいの場」
5「次世代のための環境対策・エコ事業」
6「HANEDA エリアMICE」

方策3　先端×文化産業のコミュニティ形成

第１ゾーンを大田区、日本の新たな産業を創出する源とするため、先端産業と文化産業が専門性を超えて融合する「きっかけ」や「場」づくりを行います。

13「活動拠点となるエリマネカフェ」
14「先端×文化のフォーラム開催」

方策2　誘客性・利便性・回遊性・一体性を向上する交通結節機能の強化

交通ネットワーク網の拡大により空港や周辺地域からのアクセス性強化や誘客力、空港エリアとの一体性を向上させ、各事業の効果を促進させます。

7「天空橋駅と直結する“ステーションコア”」
8「天空橋船着場の活用による舟運活性化」
9「専用バス乗降所の整備」
10「バスネットワーク網の構築」
11「区内と連携するカーシェアリング」
12「コミュニティサイクルの導入」

波及効果

大田区への波及効果
- 第１ゾーンと区民をつなげ、区民にまちへの愛着や参加意識を育んでもらうことで、まちを支える人を増やします。
- 様々な移動手段を整備し、人を市街地に呼び込むことで、区内の交流人口を増やし、商店街や観光名所等にさらなるにぎわいを生み出します。
- 災害時に近隣の防災拠点として、区民の安全・安心の向上に貢献します。

日本全体への波及効果
- 多彩な機能を整備することで、世界の諸空港に比肩するエアポートシティとして羽田空港の国際的な地位を押し上げます。

事業スケジュール

※本資料は、事業予定者の提案概要であり、今後協議により事業内容は精査されるものです。